

地図データをデザインに活用したステーショナリー発売 女性社員プロジェクトチームが商品企画

株式会社ゼンリン(本社:福岡県北九州市、代表取締役社長:高山善司、以下ゼンリン)は、これまで整備してきた実際の地図データをデザインとして活用したステーショナリー「mati mati(マチマチ)」シリーズを発売します。ゼンリンがステーショナリーを販売するのは初めてです。まず、2016年1月15日(金)から首都圏と福岡県のロフト(18店舗)で先行販売し、2016年2月以降、その他の店舗に順次拡大する予定です。本シリーズは、主に20~30代の女性向け商品として、女性社員によるプロジェクトチームが商品企画を手がけました。



ゼンリンは、全国の拠点にいる調査スタッフが徒歩や車両で情報を収集し、住宅地図やインターネット配信地図など、さまざまな形態の地図としてユーザーに提供してきました。現在、長年蓄積してきた地図データ等を活かした用途開発により、新たな市場の開拓を進めており、今回はその商品化第一弾となります。

■「mati mati」シリーズについて

「mati mati」は、「街」を語源としながらも、それぞれの街の様々(=まちまち)な特徴を表現しています。今回、東京の丸の内、表参道、吉祥寺、福岡の天神の4エリアの実際の地図データをデザインに活用した、クリアファイル、マスキングテープ、ノートパッド、ブックマークの4種類、合計16種類のステーショナリーを展開します。商品には、「mati mati story」としてそれぞれの街の特徴をテーマにしたデザインが盛り込まれています。

■女性社員プロジェクトチームについて

これまでの地図の「機能的価値」だけではなく、地図柄や街の特徴などに着目した商品を企画するため、20~30代の女性社員によるプロジェクトチームを複数立ち上げました。出身地や方言が人々の会話のきっかけになるように、街をテーマとした商品を通じて人々のコミュニケーションのきっかけを生むことを共通コンセプトとしています。

今回、そのうち3名で構成したチームが、ステーショナリーのデザインとして地図を活用した商品を企画しました。



「mati mati」を企画したチーム

本件に関するお問い合わせ

■一般: 株式会社ゼンリン カスタマーサポートセンター TEL.0120-210-616

<補足資料>

■「mati mati」シリーズ 商品概要

コミュニケーションのきっかけになることをコンセプトとし、自分で使うだけでなく、相手に贈ることに適したラインナップを展開します。[商品紹介サイト:<http://www.zenrin.co.jp/goods/matimati/>]

【1】街が重なるクリアファイル「3 LAYER mati FILE」

(特長)

- ・ゼンリンの地図データベースの「レイヤー構造」をイメージした、3ポケット仕様。異なるデザインの4枚のシートが重なると、1枚の地図が完成します。

(価格) 380円(税別)

(サイズ) A4サイズ(H310mm×W220mm)



【2】道路にメッセージが書けるマスキングテープ「STREET MEMO TAPE」

(特長)

- ・各地の有名な通りをモチーフとした、幅広タイプ。
- ・実在する“通り”に落書きをするような楽しい気持ちでメッセージが書き込めます。

(価格) 430円(税別)

(サイズ) 幅27mm、長さ5m



【3】切り離すとラッピングにも使えるノートパッド「MAP WRAP NOTEPAD」

(特長)

- ・使い勝手のいい、B5幅の正方形。
- ・中紙は切り離しができ、便箋としてはもちろん、ラッピングペーパーや折り紙としても使えます。
- ・日中をイメージした「デイカラー」と夜をイメージした「ナイトカラー」の2色入り。

(価格) 380円(税別)

(サイズ) 177mm×177mm、2カラー×10枚(合計20枚)



【4】街のストーリーを贈ることができるブックマーク「TOWN STORY BOOKMARK」

(特長)

- ・その街の特徴を表現したピクトグラム(※)をブックマークのデザインに採用。
- ・台紙はグリーティングカードとして利用可能。
- ・定型の郵送も可能な封筒付。

(価格) 400円(税別)

※: 視覚的に表現し、言語に制約されずに直感的に伝える図。



■“地図柄”に対するターゲット層の評価

20～30代の女性約100名を対象としたアンケート調査の結果、「ゆかりのある場所の地図柄に興味がある」人は約9割、「地図柄そのものにも興味がある」人も約7割(いずれも当社調べ)と、高い興味・関心があることがわかりました。その他、アンケート結果で得られた実際の声を参考にした商品企画を行いました。